

(別紙)

## 平成30年度 産業廃棄物税基金充当事業 実績報告書

事業名:循環型社会に貢献できる産業人材育成事業(古川工業高校)

事業実施期間:平成20年度から平成31年度

担当課室名:高校教育課

担当班名 キャリア教育班 TEL: 3625

e-mail ko-kogyo@pref.miyagi.lg.jp

### 1 事業の目的

産業廃棄物の再利用・有効利用を含めた、循環型社会に貢献できる技術者・技能者を育成する。また、廃棄物の発生抑制や、リサイクル産業の振興並びに循環型社会について、専門高校生として取り組むことのできる実践や基礎的研究を各関係団体からの支援を受け行う。

### 2 当該年度の実施事業の概要・実績

#### 『解体木造建築物の構造材再利用促進の基礎的研究事業』

解体予定の木造建築物の部材を採取し、再利用可能な材料としての補強方法を研究しながら規格材に加工し、木工機械を活用した製作型研究を行った。特に、本校入学前に東日本大震災を経験した生徒の考えを反映させた避難所で活用できる物品、部活動備品及び地域保育園への木製玩具の製作や、地域イベントでの3R啓発活動を行った。

事業の実施に際しては、宮城県建設業協会、地元の大工、木工建具職人及び設計士と連携し、専門的知識の学習と作業体験及び技術・技能指導を受けた。また、産業廃棄物の処理状況等の現場見学と、専門講師の指導による設計・製作工程を通じた実践的学習で、地球環境に配慮した今後の産業活動に関与できる産業人材の育成に努めた。

○避難所内での活用を考えた簡易間仕切り(スクリーンパネル)の製作【縦タイプ10枚】

○プール用スコ【4台】水泳部、楽器運搬用台車【1台】吹奏楽部、将棋盤【2台】囲碁・将棋部  
トレーニング板【1台】バレーボール部、仙台二高講堂のステージ用昇降ステップの製作【2台】

○木製玩具の製作・提供【積み木セット20個】 ○端材を活用したキーホルダー【200個】

○使用済み小型家電回収ボックスの製作【3台】 ○大崎市主催のおおさき環境フェアへの参加

○加工段階のかけくずの利用(県農業高校・加美農業高校へ家畜の敷きわら材として提供)

### 3 当該年度の実施事業の成果

○柱換算(105mm角)にして約25本分の廃材を再使用・再利用した。

○県循環型推進課から依頼の使用済み小型家電回収ボックスを3台製作し納品した。

○小さな廃材を活用した木製玩具を製作し、地域イベントに参加した。

○現場見学と専門的講師からの指導による実践的学習を通し、地球環境に配慮した今後の産業活動に関与できる人材の育成を図った。

○地域の建設廃棄物処理企業、設計士、大工や木工職人との連携・協力体制を構築した。

### 4 今後の展開

○これまでに構築した地域の各種団体や企業との連携・協力体制により、解体材料の提供や各種現場見学・実習場所等の提供を受けるなど、地域と連携した継続的な人材育成を推進する。

○3R文化祭や各種イベントを通じて普及活動に協力していく。

○地域防災に取り組む諸団体(町内会等)や教育機関(幼稚園、保育園、小中学校等)からの要望に応える木工製品づくりに取り組み、産業廃棄物の抑制に寄与する人材育成を推進する。

○生徒へのアンケート結果から、学習の理解・定着については良好であるが、持続可能な循環型社会の構築については認知度が低いと感じた。今後も、授業等を通し啓蒙活動を実践していく。

## 5 廃棄物の削減・リサイクル，適正処理の促進の効果等を示す指標の数値

(指標：関連授業時数)

単位：時間

20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
268	340	245	震災	249	250	284	293	282	297	302

## 6 事業費の推移

単位：千円

20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
7,310	3,097	3,012	震災	2,850	3,500	2,674	2,665	2,675	2,646	2,544